

経営比較分析表（令和3年度決算）

沖縄県 南城市

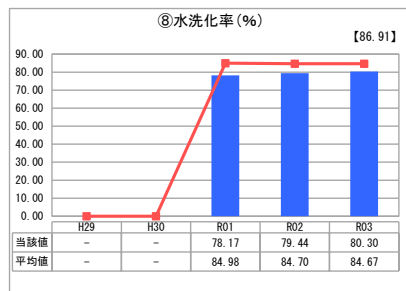
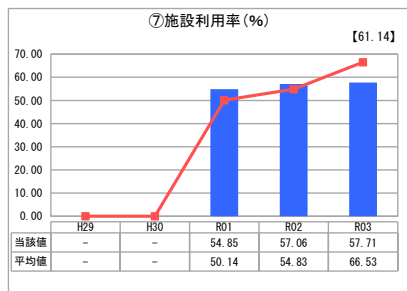
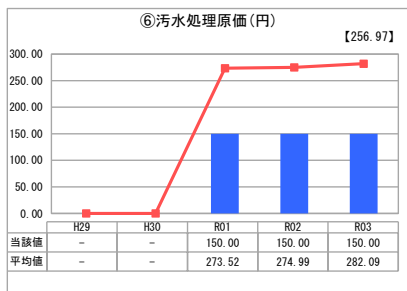
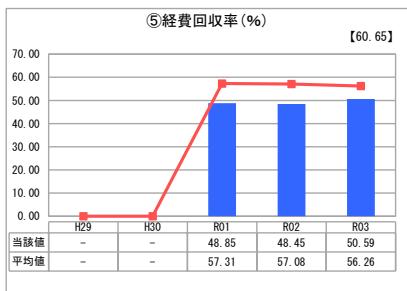
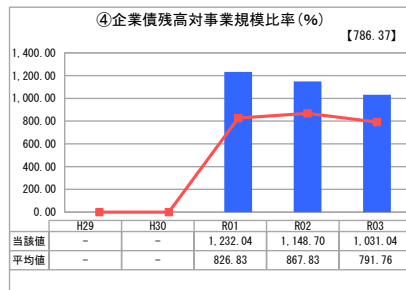
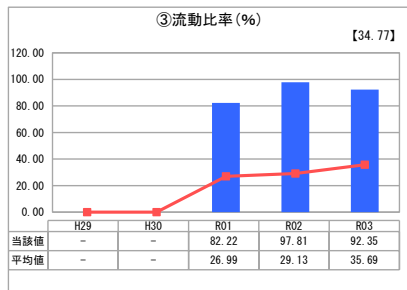
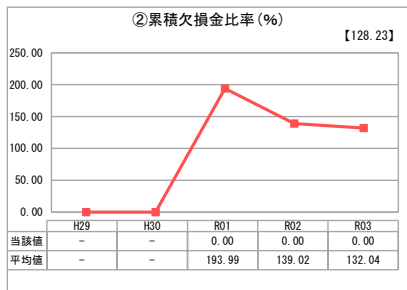
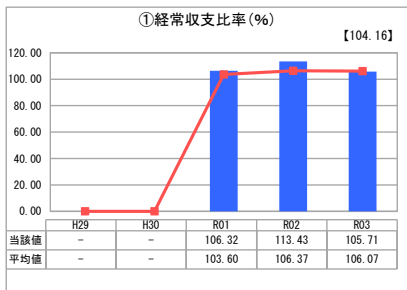
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	88.27	43.03	100.00	1,453

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
45,577	49.94	912.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
19,593	9.09	2,155.45

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- [] 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市は、令和元年度より地方公営企業法の一部を適用し地方公営企業会計へ移行したため、平成30年度以前の数値は0となっています。

①経常収支比率は、100%を超えているものの、⑤経費回収率が50.59%と低く、全国及び類似団体の平均値を下回っています。これは、汚水処理に係る費用が下水道使用料等で賄えず、一般会計からの繰入金で補てんし、事業運営を行っていることによるものです。

③流動比率は、短期的な支払能力を示す値で100%を下回っており、支払い能力が低い状況となっています。

④企業債残高対事業規模比率は、全国及び類似団体の平均値を上回っていますが、施設改良整備に伴う公債費負担が高額なに対して、使用料収入のみで補うことができず高い数値となっています。

⑥汚水処理原価は、全国及び類似団体の平均値を下回っています。

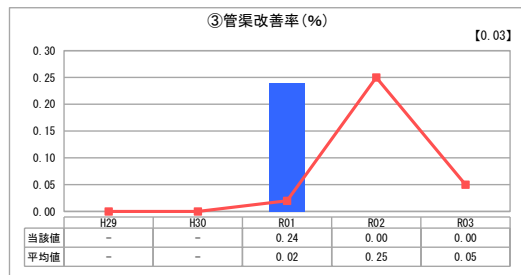
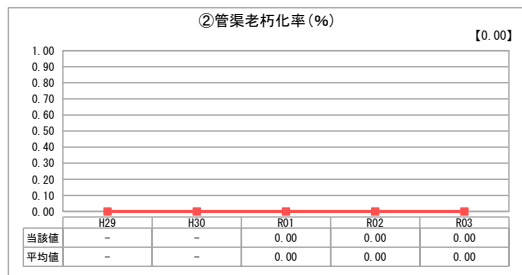
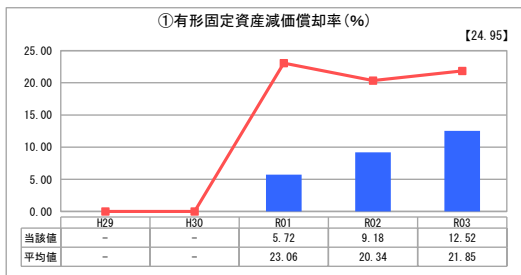
⑦施設利用率は、100%を下回っていますが、これは、汚水流入量のピーク時でも安定的に処理を行うこと及び今後の整備による増加を考慮していることによるものです。

⑧水洗化率は、全国及び類似団体の平均値を下回っているため、今後も接続推進員等による未接続世帯への訪問などを行い普及促進に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

老朽化した施設については、修繕箇所が増加し修繕費やその他維持管理費が増加傾向にあります。令和3年度は管渠更新がなかったため③管渠改善率が0となっています。今後は、終末処理場の統合や機能強化を行い、維持管理費の抑制に努めていきます。

2. 老朽化の状況



全体総括

本市における農業集落排水事業は、平成11年に供用開始され、現在12箇所の終末処理場があります。処理区域が広く、施設数が多いことにより維持管理運営は煩雑であり維持管理費の増加、老朽化に伴う更新設備投資に係る経費の増大が懸念され、一般会計繰入金への依存度も高く、非常に厳しい経営状況となっています。令和3年4月1日に料金改定を行いました。令和3年度は、引き続き、経営の健全化・効率化を図って参ります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。